

(参考資料)

「検討の方向性・課題の整理に関する中間まとめ」(概要)

平成26年7月 今後の国立大学法人等施設の整備充実に関する調査研究協力者会議
(主査:杉山 武彦 成城大学社会イノベーション学部教授)

背景

- 文部科学省では、国立大学法人等の人材養成や学術研究、高度先進医療の推進等を実現するため、平成13年度から3次にわたり、科学技術基本計画を受けた国立大学法人等施設整備5か年計画を策定し、計画的・重点的に施設整備を推進してきているところ。
- 現在は、第3次5か年計画(平成23~27年度)の期間の終盤に差し掛かっており、次期5か年計画の策定に向け、平成26年3月から有識者会議における検討を開始。
- 本中間まとめは、平成26年7月時点での中間的な取りまとめとして、検討の方向性・課題の整理を行うもの。

基本的な考え方ー検討の方向性

- 施設の老朽化対策に関しては、進捗が遅れており、現行5か年計画の終了時の状態が放置された場合、今後の四半世紀のうちに、老朽インフラに起因する事故や施設の劣化による教育研究活動の弱体化が進み、これにより我が国の高等教育、科学技術力に対する信頼性の著しい低下が懸念される。
- また、国際競争の場に置かれる大学等においては、世界各地からの優秀な人材の獲得や国内の優秀な人材流出の防止のためにも、各大学等の強みを生かした機能強化への取組が急務となっている。
- 上記を踏まえると、次期5か年計画の基本的な考え方については、以下の方向性により検討していくことが必要。

1. 安全・安心な教育研究環境の基盤の確保

- 学生や教職員の安全確保はもとより、国土強靱化の要請等を踏まえた耐震対策や防災機能強化を一層推進。
- 老朽化した膨大な既存施設について、長寿命化により、中長期的な改修・維持管理等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るなど、改修を中心とした老朽改善整備を計画的に推進。

2. サステイナブル・キャンパスの形成と地域との共生

- 大学等の社会的責任として、地球環境への配慮や、施設運営の適正化等の観点から、省エネや維持管理コスト削減等に資する整備を重点的に推進。
- 国立大学等が地域・社会と共生していくためのキャンパス整備を推進。

3. 国立大学等の機能強化への対応

(1) 国立大学等の機能強化を活性化させる施設整備

- 「国立大学改革プラン」等を踏まえ、各大学等の強み・特色を最大限に生かし、キャンパスを創造的に再生していく整備を着実に推進。
- グローバル化、イノベーション創出や人材養成機能の強化等のため、先端的な教育研究の拠点となる施設整備を重点的に推進。
- 女性研究者や障害のある学生、留学生、外国人研究者、地域住民など多様な利用者への配慮。

(2) 教育研究の活性化を引き起こす老朽施設のリノベーション

- 「(1) 国立大学等の機能強化を活性化させる施設整備」を踏まえ、新たな教育研究等を実施し、活性化を引き起こすため、老朽施設のリノベーションを重点的に推進。

※ 本中間まとめにおいて「リノベーション」とは、教育研究の活性化を引き起こすため、施設計画・設計上の工夫を行って、新たな施設機能の創出を図る創造的な改修を指す。

(3) 継続的に医療等の変化へ対応していくための大学附属病院施設の整備

- 個々の大学附属病院の機能・役割を踏まえた変化に対応する病院施設の整備を着実に推進。

4. 計画的な施設整備推進のための方策

- 計画的な施設整備の推進のための、財源の安定的、継続的な確保。

今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会・報告書（主なポイント）

～個々の附属病院の機能・役割を踏まえた、変化に対応する病院施設を目指して～

検討の背景

- 近年我が国における医学、歯学及び医療を取り巻く環境は大きく変化しており、優れた医療人材の養成や安心・安全で高度な医療の提供が急務の課題となっている中、附属病院においては、その使命として、教育、研究、診療、地域貢献・社会貢献及び国際化の5本柱を新たに掲げ取り組んでいる。
- 平成24年2月に閣議決定された「社会保障・税一体改革大綱」に基づき、「病院完結型」から「地域完結型」医療への転換を図ることが指摘されている。
- 附属病院は、ほぼ全てにおいて再開発整備に着手しているものの、一方で既に再開発整備が完了した附属病院においても、高度で質の高い医療の推進や病院機能の高度化等の対応が求められ、今後の大規模な整備が必要となってきている。
- 以上の附属病院を取り巻く状況の変化や医療制度改革の動向等を踏まえ、今後の附属病院施設の大規模な整備を効果的かつ円滑に実施する観点から本報告書を取りまとめたもの。

第1章 附属病院施設の現状と課題等

- 社会的状況の変化を踏まえ、今後の附属病院施設の整備を行う際には、①教育、②研究、③診療、④地域貢献・社会貢献及び⑤国際化の五つの基本的な機能・役割を踏まえて行うことが求められる。
- 附属病院施設の整備については、高度で質の高い医療への対応や入院患者の居住環境改善等、現行5か年計画に基づき計画的かつ着実に実施してきているが、次のような課題への対応が必要。
 - ・整備の過程で浮かび上がってきた課題
 - ①将来を見据えた附属病院整備計画の策定・情報共有、②附属病院施設の整備に係るノウハウの蓄積・活用、③施設マネジメントの実施、④汎用性のある附属病院整備計画の策定、⑤利用者や医療従事者に対するアメニティ等の配慮
 - ・社会的要請等を踏まえた課題
 - ①個々の附属病院の機能・役割を踏まえた施設機能の確保、②新たな医療への対応、③防災機能強化及び地球環境への配慮

第2章 附属病院施設の目指すべき方向性

- 附属病院本来の機能・役割を発揮していくために、施設面において①～⑤を考慮。その際、⑥の病院運営・管理と一体となった整備計画の策定及び施設マネジメントを実行していくことが重要。

①教育・研修機能充実への対応 医療シミュレータや模擬患者による技能教育・研修への対応など	②研究機能充実への対応 新しい治療法の開発や治験等を通じた新薬開発への対応など	③高度で質の高い先進医療の実践への対応 新しい医療（低侵襲治療や再生医療等）への対応など	④地域貢献・社会貢献への対応 地域医療連携の強化（入退院センター等の設置）への対応など	⑤国際化への対応 海外に向けた日本発の革新的な医療等の実用化への対応など
--	---	--	---	--

⑥病院運営・管理と一体となった附属病院整備計画の策定及び施設マネジメントへの対応

- 将来の変化を見据えた附属病院整備計画を策定の上、学内で合意形成を図りながら、当該計画を実行。その際は、災害時の防災機能強化や地球環境配慮への対応についても検討
- スペース、クオリティ、コストの観点から、病院運営・管理と一体となって総合的に施設マネジメントを実施し、その結果を附属病院整備計画に適切に反映

第3章 附属病院施設の整備に関する留意事項

- 個々の附属病院の機能・役割を踏まえ、変化に対応する病院施設を目指した取組が重要。

1. 個々の附属病院における機能・役割の明確化

- 附属病院整備計画を検討・立案する際には、附属病院に求められる基本的な五つの機能・役割を踏まえ、地域間及び附属病院間ネットワークの中で、社会的状況の変化なども考慮して、当該附属病院の機能・役割を明確化

⇒ 機能・役割に応じて、何を重点的に整備すべきか決定

2. 附属病院施設の整備に関する留意事項

①附属病院施設の整備に係る体制づくり

- 様々な知見を持った内外の専門家のノウハウも取り入れながら、附属病院整備計画の策定から、整備後の施設の活用促進や維持管理の検討までを一貫して担うことができる体制づくり
- 統一的な意思決定プロセスによる附属病院施設マスタープラン等の策定
- 過去の附属病院施設整備や施設マネジメント、維持管理等で培ったノウハウを組織的に蓄積し、承継して活用

②附属病院整備計画立案のプロセス等

- プロセスの各段階で合意形成を図りながら、附属病院整備計画を策定
 - 1) 現状分析（環境調査、分析）
 - 2) 運営方針等の策定
 - 3) 附属病院施設マスタープランの策定
 - 4) 附属病院施設マスタープランの実現に向けた実行計画の策定
 - 5) 棟ごとの実施計画の策定
- プロセスの各段階において、施設やライフラインの計画的な維持管理及び老朽対策、防災機能強化、地球環境配慮、医療情報の電子化等の施設整備面並びに施設マネジメント面の対応を検討

③附属病院整備計画立案時の留意点及び建築的工夫

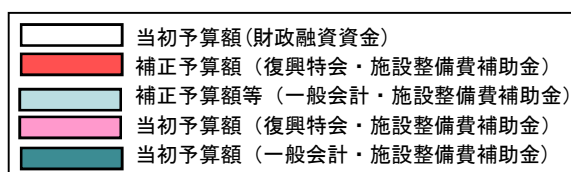
- 教育・研究等を担う病院であるという特徴を踏まえ、全体計画及び部門計画（外来・病棟・中央診療・管理・供給）における留意点を整理
- 将来の変化に対応するための建築的工夫を検討
 - 例

┌	・将来のエクステンションスペースとして、ホスピタルパークや駐車場等を一定量確保
	・将来も変わらない構造体（スケルトン）と、取替えや更新が可能な内装や設備等（インフィル）を分けて設計するスケルトンインフィルの考え方の導入
	・リスクへの備えとしてエネルギーの供給源を、中央式のほか分散して配置した計画

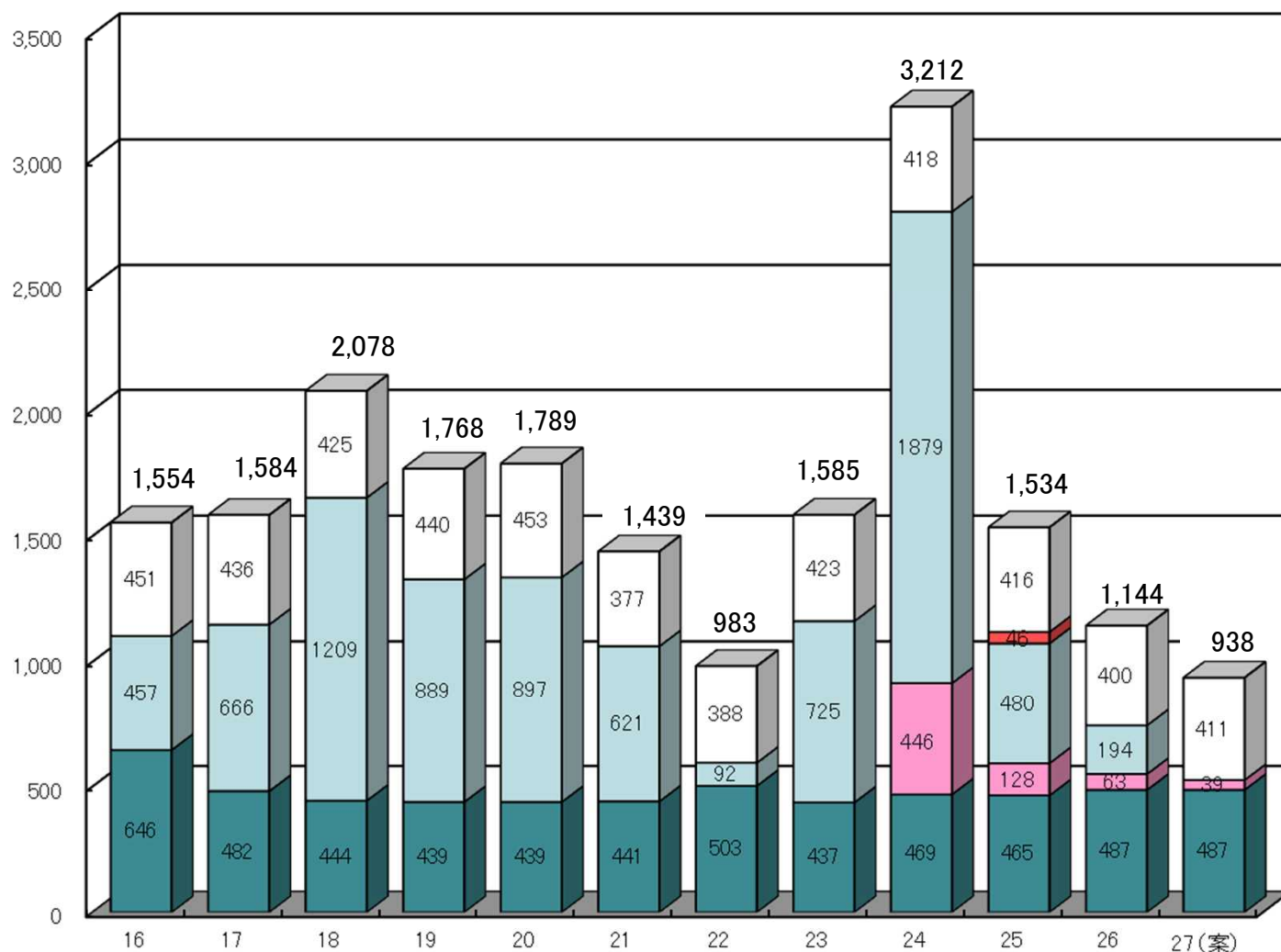
第4章 附属病院施設の新たな展開に向けて

1. 国立大学法人に求められる取組
 - 個々の附属病院における機能・役割の明確化、再整理
 - 継続的に変化に対応していくための対応（組織体制の整備、ノウハウの継承、附属病院施設マスタープランの策定、施設マネジメントの実施、地方公共団体等との連携）
2. 国に求められる取組
 - ノウハウや建築的工夫等の事例を収集し情報提供、普及・啓発活動の実施
 - 財政的支援等の充実 ○ 現状及び課題の把握等 ○ 整備後の検証

国立大学法人等施設整備費予算額の推移



(単位：億円)



- ※1 平成16年度補正予算額は、新潟県中越地震等における災害復旧費(89億円)を含む。
- ※2 平成22年度補正予算額は、経済危機対応・地域活性化予備費使用額(41億円)を含む。
- ※3 平成23年度補正予算額は、東日本大震災における災害復旧費(375億円)を含む。
- ※4 平成24年度補正予算額は、2度の経済危機対応・地域活性化予備費使用額(467億円)及び補正予算額(1,412億円)の合計。
- ※5 四捨五入により合計は一致しない。

大学附属病院再開発整備の進捗状況（平成27年度予算案）

設置	大 学 名	再開発整備 開始年 前回の再開発整備期間	整備状況	病 棟		中 央 診 療 棟		外 来 診 療 棟	
				前 回 の 建 物 整 備 時 期	前 回 の 建 物 整 備 時 期	前 回 の 建 物 整 備 時 期	前 回 の 建 物 整 備 時 期		
既 設	北海道大学	昭和61年度 (平成10年度終了)	済	(H元~5)	(H6~8)	(S61~63)			
	東京医科歯科大学	昭和62年度 (平成15年度終了)	済	I期(S62~H3) II期(H5~8)	I期(S62~H3) II期(H5~8) III期(H10~12)	I期(S62~H3) II期(H5~8) III期(H10~12)			
	岐阜大学	平成11年度 (平成18年度終了)	済	(H11~14)	(H11~14)	(H11~14)			
	大阪大学	昭和62年度 (平成5年度終了)	済	(S63~H4)	(S63~H4)	(H元~4)			
	神戸大学	昭和56年度 (平成14年度終了)	済	I期(S56~58) II期(H10~13)	(S56~58)	(S59~61)			
	鳥取大学	昭和62年度 (平成6年度終了)	済	(S62~H元)	(H4~6)	(H4~6)			
	山口大学	平成26年度 昭和60年度~平成9年度	中	増築(H26~H30) I期(S62~H元) II期(H2~4)	増築(H26~H30) (H7~8)	(S60~61)			
	弘前大学	昭和61年度 (平成22年度終了)	済	I期(S61~63) II期(H元~3)	(H8~10)	(H16~19) 救命救急センター(H21)			
	群馬大学	昭和60年度 (平成21年度終了)	済	I期(S62~H元) II期(H10~12)	I期(S62~H元) II期(H15~18) 改修(H20~21)	(S60~61)			
	信州大学	昭和62年度 (平成22年度終了)	済	I期(H3~5) II期(H7~8)	(H11~13)	(H18~20) 改修(H21)			
	東北大学	昭和61年度 (平成23年度終了)	済	I期(H8~11) II期(H14~17)	(S62~H元)	(H10) 増築(H19~21) 改修(H21~23)			
	秋田大学	平成18年度	中	増築(H19~21) 改修(H21~24)	改修(H22~25(26))	改修(H22~25(26))			
	千葉大学	平成16年度	中	増築(H16~19) 改修(H20~22)		(H23~26)			
	東京大学	平成2年度 (昭和58年度)	中	I期(H8~11) II期(H24~28)	I期(S58~62) II期(H14~17)	(H2~5)			
	新潟大学	平成9年度 (平成25年度終了)	済	I期(H9~12) II期(H14~17)	増築(H18~21) 改修(23~24)	(H21~24)			
	金沢大学	平成9年度	中	I期(H9~12) II期(H10~13)	(H13~16)	(H18~20)			
	名古屋大学	平成5年度	中	I期(H5~7) II期(H8~10)	(H13~17)	(H18~20)			
	三重大学	平成18年度	中	(H19~23)	(H19~23)	(H23~26)			
	京都大学	昭和60年度	中	(S60~62) (H24~27)	(S63~H3)	(H8~10)			
	岡山大学	平成10年度	中	I期(H10~14) II期(H16~19)	I期増築(H22~24) II期増築(H25~28)	(S58~59)			
	広島大学	平成10年度	中	(H10~H14) 入院棟改修(H22~23)	増築(H21~25)	増築(H21~25) 改修(H25(26))			
	徳島大学	平成7年度	中	I期(H7~9) II期(H18~21)	(H12~14)	(H24~27)			
	九州大学	平成8年度	中	I期(H9~13) II期(H13~17)	I期(H9~13) II期(H13~17)	(H18~21)			
長崎大学	平成16年度	中	(H16~19) 感染症センター(H22~23)	増築(H16~H19) 改修(H24~27)	改修(H20~23)				
熊本大学	平成11年度	中	I期(H11~H14) II期(H19~21)	(H15~H18)	(H23~25(26))				
鹿児島大学	平成19年度	中	(H22~24(25)) (H26~29)	増築(H19~21) 改修(H21~22) (H26~29)					
51年	旭川医科大学	平成10年度 (平成16年度終了)	済	改修(H10~16) 増築(H10~13)	改修(H10~16)	改修(H16)			
	愛媛大学	平成10年度 (平成16年度終了)	済	増築(H10~13) 改修(H13~16)	改修(H13~16)	改修(H13~16)			
	山形大学	平成17年度	中	増築(H17~19) 改修(H20~22)	改修(H23~26)	改修(H23~26)			
	筑波大学	平成19年度	中	PFI事業	PFI事業	PFI事業			
52年	浜松医科大学	平成18年度 (平成25年度終了)	済	増築(H18~21) 改修(H22~25)	改修(H22~25)	改修(H22~25)			
	宮崎大学	平成18年度 (平成24年度終了)	済	改修(H22~23) 改修(H23~24)	増築(H18~19) 改修(H19~20) 改修(H22~23)	増築(H20~21) 改修(H23~24)			
53年	滋賀医科大学	平成17年度 (平成23年度終了)	済	増築(H17~19) 改修(H19,H20~21)	増築(H20~21) 改修(H21~23)	改修(H21~23)			
54年	富山大学	平成20年度	中	増築(H20~22) 改修(23~25)	改修(H25~29)	改修(H25~29)			
	島根大学	平成20年度 (平成24年度終了)	済	増築(H20~23) 改修(H22~24)	増築(H20~23) 改修(H22~24)	改修(H22~24)			
56年	高知大学	平成23年度	中	増築(H23~26) 改修(26~30)	改修(26~30) 改修(27~30)	増築(H27~30) 改修(27~30)			
	佐賀大学	平成23年度	中	増築(H23~24(25)) 改修(H25~29)	増築(H23~24(25)) 改修(H25~29)	改修(H25~29)			
	大分大学	平成22年度	中	増築(H22~24) 改修(H25~29)	改修(H25~29)	改修(H25~29)			
	琉球大学	未着手	未						
58年	福井大学	平成23年度	中	増築(H23~25) 改修(H26~30)	改修(H26~30)	改修(H26~30)			
	山梨大学	平成24年度	中	増築(H24~27) 改修					
	香川大学	平成23年度	中	増築(H23~25) 改修(H26~30)	増築(H26~30) 改修(H26~30)	改修(H26~30)			

凡例
 済:整備済 17大学
 中:整備中 24大学
 未:未整備 1大学

完了
 工事中
 未整備
 H27着手予定
 ※〇〇(H00~00(00))のアンダーライン部は繰越年度を示す。

国立大学附属病院施設整備の事例集作成に関する検討会の実施について

平成26年4月23日
文教施設企画部長決定

平成27年1月1日一部改訂

1 趣旨

国立大学附属病院の施設整備を行うに当たっては、優れた医療人材の養成や安心・安全で高度な医療の提供が急務の課題となっていることに加え、医療制度改革などの状況の変化を踏まえて行うことが必要となっている。そのため、文部科学省では平成25年度に今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会を開催し、「今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会・報告書（平成26年3月）」（以下、「報告書」という。）を取りまとめたところである。

報告書では、個々の附属病院の機能・役割を踏まえた、変化に対応する病院施設の取組の必要性について提言されており、今後の附属病院施設整備に当たっては、報告書で示された留意事項等を考慮して進めることが望まれている。

このため、文部科学省では、報告書に基づく大学の取組を支援することを目的として、有識者の協力の下、大学附属病院等における具体的な取組の事例を収集して取りまとめを行うこととする。

2 検討事項

- (1) 「今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会・報告書」を踏まえた取組事例集の作成について
- (2) その他

3 実施方法

別紙の学識経験者等の協力を得て、2に掲げる事項について検討を行う。
なお、必要に応じてその他の関係者の協力を得て行う。

4 実施期間

平成26年4月23日から平成27年3月31日までとする。

5 その他

この検討会に関する庶務は、大臣官房文教施設企画部計画課整備計画室において行う。

別紙

国立大学附属病院施設整備の事例集作成に関する検討会 委員名簿

氏名	職名
石田 信之	日本医業経営コンサルタント協会理事 アイテック株式会社常務取締役
金谷 靖	株式会社日建設計エンジニアリング部門 設備設計グループ設備設計部主管
小松 幸雄	名古屋大学施設管理部長
竹田 幸博	東京大学医学部附属病院事務部長
○長澤 泰	工学院大学副学長
山下 哲郎	工学院大学建築学部建築学科教授

(以上6名、敬称略、五十音順)

(○：主査)

これまでの検討経過

開催日等	主な議題等
第1回 平成26年5月23日	○国立大学附属病院施設整備の事例集作成に関する検討について ○国立大学附属病院施設整備の取組について
第2回 平成26年6月27日	○事例集の構成（案）の検討について
平成26年9月26日	○新潟大学・現地調査（小松委員）
平成26年10月1日 ～3日	○宮崎大学・現地調査（長澤主査、石田委員、山下委員）
平成26年10月16日	○信州大学・現地調査（竹田委員）
平成26年11月4日	○順天堂大学・施設見学（石田委員、金谷委員）
平成26年11月12日	○名古屋大学・施設見学（金谷委員）
第3回 平成26年11月28日	○事例集（案）の検討について
平成27年1月14日	○北里大学・施設見学（金谷委員、小松委員、山下委員）
第4回 平成27年2月4日	○事例集（最終案）の検討について